



友愛の森(二中だより)

11月号



学校教育目標

二中文化を創造する生徒

わかる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和元年11月22日発行

前期から後期へ、新たな二中文化が動き出す

校長 渡邊 一 衛

11月2日(土)、希翔祭「文化の部」。25回という歴史の重みを感じながら、歌や群読の言葉一つ一つを大切に、市民文化会館ホールいっぱいには生徒たちの声が響き渡りました。保護者の方々からも「ZEN力を尽くして皆が一つになって目標が達成できた」「共に信じ、楽しみ、輝いている姿に感動。個としても集団としても生徒の表現力が素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただきました。

群読には、それぞれの学年・クラス・生徒の思いが込められていました。一部を抜粋して記します。

〈5・6組〉

「どんなに強い人でも、一人っきりでは生きていけません。私たちは、たくさんの人に支えられて生きています。……もっともっと強くなって、周りの人を大切にできる、そんな人になりたいと思います。」

〈1年生〉

「足りないところを補い合い、ともに励まし合う。私たちは『one team』。……私たちが目指すのは、最強で、最高の『one team』。未来に向かって、助け合い、飛び出していこう、翼を広げて。」

〈2年生〉

「先輩たちが残してくれた姿と熱い思いを、私たちが次の時代へと受け継いでいきます。そして、自信を持って二中の顔と言える、そんな3年生への階段を、仲間とともに一歩ずつ、歩んでいきます。」

〈3年生〉

「クラスを思う気持ちが強すぎて、時にはぶつかることもあった。それでも苦しいときはみんなで助け合うことができた。……全員でつないだムカデは大きな絆となった。……これから始まる大きな試練。どんなときも友となら越えていける。91人全員の絆で乗り越えよう。そして、卒業式を感動の涙で飾ろう。」

何かを仲間とともに創り出す過程は、やはり、容易なものではありません。壁にぶつかり、仲間との関係がうまくいかなくなり、でも、それを克服した先に、感動があり、その感動が成長につながっていきます。子どもたちは、そのような、様々な経験を通して、強く、たくましく育っていきます。群読の言葉には、そうした中学校生活での思いが凝縮されているようです。

文化の部閉会式後の生徒会引継式。11月7日(木)、生徒会本部役員・学級委員辞令伝達式。11月12日(火)、専門委員長・副委員長任命式。これら3つの式を経て、二中のリーダーが3年生から2年生へバトンタッチされました。3年生が築き上げてきた二中文化を、2年生がどのように受け継ぎ、発展させていくか、今から1年後の文化の部が楽しみです。

全校生徒が心を合わせ…希翔祭「文化の部」より

11月2日、希翔祭「文化の部」が市民文化会館で開催されました。美術部、英語スピーチの発表、吹奏楽部の演奏、有志パフォーマンス、学級・学年による群読・合唱、美術作品展示、さらに、開閉会式、生徒会引継式と、全校生徒が一つ一つの発表に心を込めて準備を進めてきました。



当日は参観された保護者やご家族、地域の皆様から多くの賞賛の言葉をいただきました。「運動の部」同様に、応援して下さった皆様に心から感謝申し上げます。（以下、生徒の感想より）

文化委員長 3年 八木くるみ さん

令和最初の希翔祭スローガン「BEST」のもと、一人一人の努力が音楽で一つとなり、「運動の部」に引き続き、「文化の部」も大成功に終わることができたと思います。みんなで協力し、ZEN力を尽くしたことによって、最高の希翔祭となり、同時に、私たちの大切な思い出の一つになりました。

生徒主体の取り組みを温かい目で見守って下さった先生方と家族に感謝し、「合唱」と自分たちの「真剣な取り組み」の両者を二中文化の一つとして、次の世代に引き継いでいってほしいです。

5・6組 大野 真緒 さん

私たちの希翔祭「文化の部」の目標は「印象・本気・感動そして、全員で気持ちを合わせること」でした。本番は緊張しても強い気持ちで発表したいと思いました。深呼吸をして心を落ち着かせました。群読では、先生方のアドバイスを意識して、皆堂々と発表できました。合唱では、幸成先生の指揮がわかりやすく、気持ちよいハーモニーを奏でることができました。皆の心を一つにして、目標を達成することができたのでよかったです。皆の力で成功できたので、感謝の気持ちでいっぱいです。

前期生徒会長 黒野 真花 さん

令和元年度にふさわしい希翔祭にするため、スローガン「BEST」のもと、準備や練習から全員がベストを尽くしてきました。「運動の部」では学年や軍を越えての応援が印象的でした。二中学生会の団結力と強い絆を感じました。さらに、「文化の部」では合唱や発表から一人一人の「成功させたい」という強い思いが伝わってきました。今年の希翔祭は令和のスタートに相応しく、まさに「最上級のBEST!!」最高だったと思います。

来年度は佐野会長を筆頭に、今年以上の希翔祭を創り上げてくれることでしょう。期待しています。

後期生徒会長 佐野 円花 さん

私たち本部役員全員が共通でもっている思い、それは「全校の手で創る生徒会にしたい」ということです。本部役員はみなさんの代表として選んで頂くことで、初めて活動することができます。だからこそ「できるだけ多くの声に耳を傾ける」ということが本部の軸であるべきだと私は考えます。

先輩方から受け継いだ生徒会。私たちの時代は今、スタートを切りました。1年後、誰もが輝く、「より良い二中」という絵を全員の手で完成させるために、二中の最前線を走っていきます。

地域で活躍する二中学生 「浅間大社清掃」より

本年度2回目となる浅間大社清掃活動が、11月6日(水)、大宮小学校5、6年生と本校の全校生徒が参加して行われました。ここ数年は、生徒会本部から美化・環境委員が企画・運営の中心となり、56年目となる伝統を引き継ぎ、活動しています。美化環境委員も2年生主体となり、委員長の諸星ひよりさん、副委員長の高橋萌奈さんが小学校職員と事前打合せを行いました。



当日は天候にも恵まれ、開会式の後、通学区ごとに分かれて清掃活動を行いました。奉仕の心や地域を大切にする心を育むと同時に、通学区のメンバーで行うことにより、緊急時に避難した場合など、小中学生が協力しやすい環境を整えることも目的として行っています。

